

未来へバトンをつなぐマガジン——— 神奈川印刷ニュース

# KIN

KANAGAWA  
INSATSU  
NEWS



Happy Industry

2023 No.224

夏号

神奈川県印刷工業組合

新しい挑戦の一步となる年にしよう!

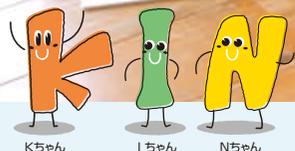


巻頭言 | 持続可能な組合を目指して  
神奈川県印刷工業組合 理事長 江森克治

Report | 神奈川県印刷工業組合  
第66回 通常総会報告

Vision | 神奈川県印刷工業組合の  
持続可能な活動に向けて

Report | INSATSU 交流会



Kちゃん

Iちゃん

Nちゃん

KIN公式キャラクター

cover photo 株式会社アドタック

／ 巻頭言 ／

# 持続可能な組合を目指して



神奈川県印刷工業組合 理事長  
江森 克治

「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む。進まず退かずして滞り(ちよたい)する者はあるべからざるの理なり。」

『学問のすゝめ』に記された福沢諭吉翁の言葉です。前進しないということはすなわち後退を意味する。進みも退きもせず、その場所に止まることはできないのが道理である。明治初頭に発刊された本ではありますが、まるで現代を生きる私たちに向けられているかのようです。

先般の第66回通常総会において、提出のすべての議案を原案通りご承認いただき、令和5年度の事業が本格的にスタートしました。私としては理事長を拝命して3期目の最後の年度、まさに総仕上げの年となります。先般の総会では、この2年間外部有識者の力も借りながら、理事の皆さんと議論してきた「持続可能な組合運営」に、ひとまずの答えを導き出すことができ、数年先の組合運営を意識した事業計画と予算を提案させていただきました。この厳しい状況下で組合員の皆様

に新たなご負担をお願いすることは心苦しい限りではありますが、5年後、10年後の印刷組合、そして印刷産業に従事するすべての人たちのために、きっと役に立つ改革であると信じています。

私たちが望むと望まざるとに関わらず時は流れ、時代は私たちが同じ場所に止まっていることを許してはくれません。この先の10年で印刷を取り巻く環境は大きく変わります。それはつまり多くの新しいビジネスが生まれるチャンスということでもあります。そしてそういう時代にあっても、神奈川県印刷工業組合が神奈川でビジネスを志す者にとって、魅力のある団体であるよう、一つひとつ丁寧に準備を進めていきたいと思います。

組合員の皆様のよきパートナーであり、情報源であり、サプライヤーであり、そして退かざる者たちが集い、励ましあえる場であるよう、持続可能な組合を共につくり上げて参りましょう。本年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

アップロード版

教育研修委員会 委員 古木 直人

全日本印刷工業組合連合会

お申込み受付中

2023年 8月31日締切

教育研修委員会 委員長 富澤 隆久

社員の皆さん

## デジタルシフトに乗り遅れるな!

～ いざ社員革新へ～

アカウント取得後すぐに見られる! おまとめ申込みで1アカウント単価がお得に!

eラーニングサービス提供期間

2023 6月1日 ▶ 2024 8月31日

※すべて税込み価格です。

1アカウント 1年間で 24,000円	5アカウント 1年間で 23,000円	10アカウント 1年間で 21,000円	20アカウント 1年間で 19,000円
---------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------

※おまとめ申込みは、お申込みアカウントのメールアドレスドメイン (@以降) が同一であることが条件となります。

最長1年3ヶ月間視聴可能!

印カレ-eラーニングお申込み受付中です!!  
詳しくはこちらから→

## Contents

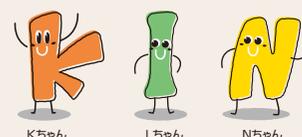
- 01 | 巻頭言 / 理事長 江森克治
- 02 | 第66回 通常総会報告
- 04 | 神奈川県印刷工業組合の持続可能な活動に向けて
- 08 | レポート 総会交流懇親会
- 10 | INSATSU 交流会
- 12 | くみあい日誌 / 組合員の動き
- 13 | 編集後記

## 表紙について

### ■ 題字ロゴ

# KIN

「KIN」は親族、親類、一族、一門、同類の人、同質という意味を持つ。われわれ印刷業界・印刷会社の皆が、同じ境遇・社内外の繋がりをもっと大切にして、業界として結束しようよ!という希望も込めました。



### ■ KIN 公式キャラクター

神奈川県印刷ニュースの頭文字をとってKちゃん、Iちゃん、Nちゃんを制作。季節毎に色々な表情で表紙を飾り、神奈川県印刷ニュースを盛り上げます。

### 今回の表紙モデル

## 株式会社アドタック



(左上から) 印刷部/武蔵美幸・森川直人  
(左下から) 企画制作部/遠井美紀・鈴木武留  
営業部/高橋さやか

この春から新入社員(前列)を中心にSNSでの情報発信にも力を入れています!

# 神奈川県印刷工業組合 第66回 通常総会報告

第66回通常総会は、令和5年5月19日(金)16時より、横浜中華街ローズホテル横浜で、開催されました。

司会には荒井慶太常務理事が立ち、出席状況について、定款第41条の規定により、法定数を満たしているため本総会は有効に成立する旨を告げたのを受けて、大川哲郎副理事長が開会を宣言、つづいて物故者への黙祷を捧げたのち、江森克治理事長が「印刷業の在り方を大きく変えていかなければならないのはもちろん、組合の運営も変えていく必要があります。組合員の皆さんに負担をお願いすることにもなりますが、それをコストと捉えるか、将来の成長への投資と捉えるかは、私たちの姿勢にかかっています。経営者が情熱を失わない限り会社と事業は継続されます。それをできるかぎり支援するのが組合だと考えています。」と挨拶を行いました。

議事に入り、杉山昌行前理事長が議長席に着いて第1号から第4号までの議案審議を指揮、すべての議案が満場一致で可決承認されました。

第1号議案の令和4年度事業報告案及び収支決算報告案の件および労働保険事務組合令和4年度収支決算報告案の件では、事業報告書と決算関係書類について荒井慶太総務組織委員長が提案説明、労働保険事務組合収支決算報告は京浜労基の吉沢氏が担当し、野村幸市監事と浅木克真税理士より、事業報告、収支決算報告、貸借対照表、財産目録及び剰余金処分案等について、適正なものであると認められたとの監査結果が報告されました。

第2号議案の脱退組合員に対する出資金払い戻しに関する件については、荒井慶太総務組織委員長の説明により原案が承認されました。

第3号議案の経費の賦課及びその徴収方法の件では、荒井慶太総務組織委員長から、令和2年度より、組合員にメリットある事業の拡充・強化、印刷会館大規模修繕のための積立と今後の活用、印刷産業の衰退や構造変化による組合員の減少対策、赤字体質化した組合財政の改善等に取り組むために、「持続可能な組合ビジョン策定会議」「持続可能

な組合づくり会議」を設置して検討を重ねてきたこと、とりわけ収支体制の見直しを行なうなかで20年以上改訂をおこなっていない賦課金(経費の賦課)の改訂が必要との判断に至ったこと、について、検討の詳細な資料を提示しつつ報告説明がなされ、理事会等における具体的なシミュレーション検討や話し合いの結果としてまとめられた賦課金の改訂案が次のとおり示されました。

改訂案の内容		改訂前	改訂後
11名以上	均等割	5,000円	▶6,000円(+1,000円)
	人頭割	130円	▶200円(+70円)
10名 5名	均等割	4,000円	▶6,000円(+2,000円)
	人頭割	130円	▶0円(-130円)
4名 1名	均等割	4,000円	▶5,000円(+1,000円)
	人頭割	130円	▶0円(-130円)

この改訂案が異議なく承認されましたが、この結果、令和5年6月からの賦課金は次のとおりとなります。

## 【現行】(月額)

- ①均等割1社5,000円  
但し、就労人員10名以下の組合員は4,000円
- ②人頭割1名につき130円  
(前年10月1日現在の人員数)
- ③総額 (①+②)の上限 30,000円

## 【改訂】(月額)

- ①均等割1社6,000円  
但し、就労人員4名以下の組合員は5,000円
- ②人頭割1名につき200円  
但し、就労人員10名以下の組合員は0円  
(前年10月1日現在の人員数)
- ③総額 (①+②)の上限 35,000円

続いての第4号議案の令和5年度事業計画案及び収支予算案の件では、まず、江森克治理事長が事業計画案の概要、重点方針、具体的施策と委員会構成および業務分掌を説明、つづいて委員会計画案については各委員会委員長である荒井慶太総務



組織委員長、金子僚平経営革新マーケティング委員長、石澤勝Happy Industry委員長、武井康時広報委員長が説明に当たり、令和5年度収支予算案については荒井慶太総務組織委員長が説明を担当、これらすべてが満場一致をもって異議なく可決決定され、滞りなく通常総会の議案審議を終えました。

通常総会恒例の印刷功労者表彰は、今期、該当者がいかなかったので行われず、8月に退任退職する萩原正敏事務局長に対して理事長から感謝状と金一封が贈られました。

続いて、お招きした来賓、神奈川県中小企業団体中央会組合支援部の村上奈緒子主事およびご臨席くださった北島崇弘参与、渡辺重博参与を紹介、午後6時、中矢忠雄副理事長の閉会の辞で終了しました。

## 令和5年度事業計画

### 重点方針

1. Happy Industryの実現にむけた経営革新支援と次世代育成
2. 持続可能な組合運営の確立
3. 広報活動の充実
4. 支部活動の活性化と会員交流機会の創出
5. 異業種団体・政治・行政との交流・連携

### 具体的施策と重点事業

1. Happy Industryの実現にむけた経営革新支援(経営革新マーケティング委員会)
  - ・DX-PLATおよびMISの普及促進
  - ・MUDを活用した地域社会との互恵関係の構築
  - ・ゼロカーボン社会に向けた印刷業の取り組みの研究・啓発
  - ・販路拡大に向けた調査・研究と情報共有
  - ・円滑な事業承継の促進
  - ・原材料高騰分価格転嫁に関する研究と啓発
2. Happy Industryの実現にむけた次世代育成と会員サービスの充実(Happy Industry委員会)
  - ・会員交流の機会創出
  - ・社員参加型事業の企画・運営
  - ・幸せな働き方改革の普及・啓発
  - ・共済事業の普及・促進(総務組織委員会)
  - ・共同購入事業の普及・促進
  - ・印刷会館の活用検討

- ・持続可能な組合運営の確立(常務理事会)
  - ・持続可能な組合についての協議
  - ・財政健全化についての検討
- 4. 広報活動の充実(広報委員会)
  - ・多様なメディアを活用した組合員へのきめ細かい情報提供の実施
  - ・対外広報の実施(HPの活用、プレスリリース)
  - ・新規組合員の加入促進(総務組織委員会と協働)
- 5. 組合員間コミュニケーションの活性化(総務組織委員会)
  - ・三役による支部訪問(事業説明と組合のメリット提示、顔の見える関係に)
  - ・SNS等を活用した理事・役員間での円滑な情報共有の仕組みづくり
- 6. 業態変革推進のための他業界との交流(Happy Industry委員会)
  - ・他業界との交流
- 7. 政治・行政との連携(総務組織委員会(神奈川県印刷産業政治懇話会))
  - ・政治、行政機関との定期的な意見交換の実現
  - ・官公需対策
  - ・知的財産保護に向けた活動

### 委員会構成

- ・総務組織委員会
- ・経営革新マーケティング委員会
- ・Happy Industry委員会
- ・広報委員会
- ・青年部(神奈川正和会)

# 持続可能な活動に向けて

神奈川県印刷工業組合の



**武井：**さて荒井さんには総務組織委員長に就任後、この件に関りを持つようになった経緯からお願いします。

**荒井委員長：**令和3年に設立された「持続可能な組合ビジョン策定会議」のメンバーに経営革新マーケティング委員長として参加させていただき、今後の組合がどうあるべきか神奈川県中小企業団体中央会の有識者と連携しながら、ビジョンの策定を行ない、令和4年からは総務組織委員長として、さらに具体的な解決策に取り組ませていただくことになりました。

**武井：**「持続可能な組合ビジョン策定会議」答申の中で、特に賦課金の見直し担当として初めに考えたことは？

**荒井委員長：**正直、業界的に厳しい情勢の中、賦課金の改定は、弊社としてもなかなか簡単にYESといいがたいものです。

実は私は、2014年までの20年間、教育・エンターテイメント・飲食業を営むグループ会社に勤めておりました。関連会社のバイスプレジデントを務めておりました。事業承継のため前職を退職し、印刷業界に入りました。つまり10年前は、印刷のことはほとんどわかっていない状態でした。

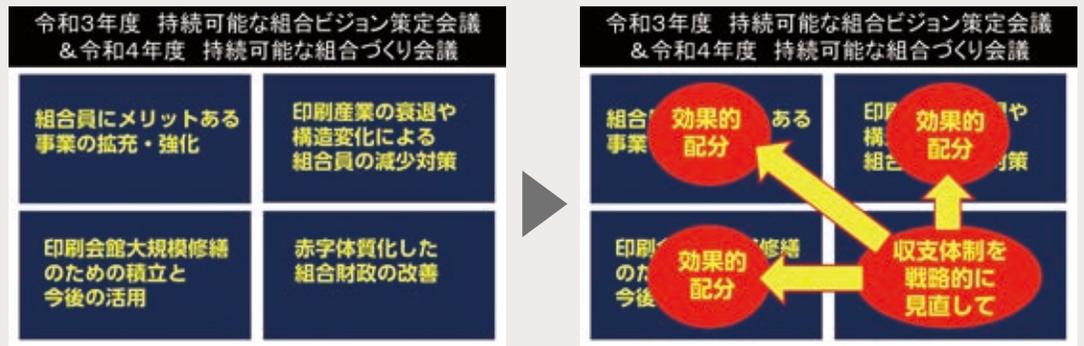
入社した時点で、既に今までの延長線上の経営では、成長が望めない状態でしたので、どう

5月19日開催の第66回通常総会にて可決された議案(賦課金の改訂)について、当日出席の叶わなかった組合員の皆様に向けて経緯等を含めKIN誌上でご紹介したいと思います。

担当された荒井総務組織委員長に広報委員会委員長の武井がインタビューする形式で進めたいと思います。

組合の現状から改革への経緯は、今号P.01江森理事長の巻頭言やKIN219号P.06の古木副理事長による「持続可能な組合ビジョン策定会議」答申報告をご参照ください。

## ポイント1 持続可能な組合運営のために必要なこと



したらよいか模索している中、「印刷道」を目にしました。印刷のことはほとんどわかりませんでしたので、入社前から書籍・ネット等での業界研究、業界に関するセミナーへの参加など積極的にしておりましたが、その中でも「印刷道」の内容がとても中小零細印刷会社の視点、かつ、あるべき姿に向けての客観資料の分析もされており、非常に参考になりました。

現在も経営戦略の軸として活用させていただいております。また、支部活動への参加に直接声をかけていただき、約10年大切な場として懇親を深めさせていただいております。そのように振り返ってみると、印刷業をベースに新しいビジネスモデルにチャレンジしてきた中で、「組合」が、何もわからなかった私にとってとても大きな存在となっております。

印刷業界は、これから益々予想ができない展開を迎え、チャレンジの連続になるのは誰もが実感するところだと思います。そんな中、組合員が新しいことにチャレンジをする上で、1社ではできないけれど「組合」を活用すれば可能なことも増えていきます。紳士協定のもと、お互いのメリットになるように組合を積極活用する時代になっていると思います。

恩返しも含めて、今後、中小零細印刷会社が進化・発展するための「持続可能で組合員に還元できる組合」をつくるには、何が必要かを初

めに考えました。

**武井：**荒井委員長の印刷業へ取り組み始めた経緯はとても興味深いです。詳細を伺いたいところですが、本題に入りたいと思います。5月19日の総会で説明された内容をお願いします。

**荒井委員長：**総会では、これまでの経緯と結果を短時間でご理解いただくために「スライド」形式でスクリーンに投影しながら説明をさせていただきました。詳しくは、総会前に皆様にお送りした議案説明書(P.49～P.70)をご覧ください。

**武井：**ここではポイントを絞ってお願いします。

## 荒井委員長：ポイント1：持続可能な組合運営のために必要なこと

令和3年度に、持続可能な組合をつくる上で課題である

- ① 組合員にメリットある事業の拡充・強化
- ② 印刷会館大規模修繕のための積立と今後の活用
- ③ 印刷産業の衰退や構造変化による組合員の減少対策

④ 赤字体質化した組合財政の改善等に取り組むために、神奈川県中小企業団体中

央会の有識者と連携して、「持続可能な組合ビジョン策定会議」を設置し、令和3年7月29日～令和3年12月16日の期間に計5回の会議を開催しました。全5回の議論を取りまとめて、令和4年度の第65回通常総会にて「神奈川県印刷工業組合持続可能な組合ビジョン策定会議答申書」を提出いたしました（議案説明書P.57～P.70参照）。

答申中の「神奈川県中小企業団体中央会からの最終報告書」の中で、特別委員の小室洋樹氏（中小企業診断士）、鎮野政孝氏（神奈川県中小企業団体中央会組合支援部長）より、「組合財政の悪化（赤字体質）、収入が年々減少しており10年以内に債務超過する」との結果が出され、令和4年度は、「持続可能な組合づくり会議」を新設して、まず、④の赤字体質化した組合財政の改善をするために、収支体制を戦略的に見直して、①②③に効果的に配分するにはどうするか対策を考えてきました。

**ポイント2：収支体制を戦略的に見直す**

収支体制を戦略的に見直すために、1999年からの約24年間の決算書を見直しました。その結果、補助金に頼ることもなく、退職金を支払っても余剰金が残っている2002年の収支バランスが好事例ではないかと思われました。

**ポイント2 収支体制を戦略的に見直す**



持続可能で組合員に還元できる組合づくりのための収支体制バランスは、約24年間分の収支バランスを整理すると「持続可能な収支バランス表(案)」のようになると考えられます。2015年頃より組合員数の減少により、収支バランスの取れない状態を迎えはじめました。また、2020年のコロナの影響でバランスがますます崩れてきております。

**ポイント3：賦課金の改訂について**

20年以上改訂をおこなっていない賦課金（経費の賦課）の改訂と事務局の2人体制への移行が必要との判断に至り、まず令和4年9月度の理事会より半年間、具体的なシミュレーションを元に賦課金の改訂案を話し合い、令和5年4月度の理事会で、今回の第3号議案の改訂案（D案）を総会にて上程するに至りました。

D案は、当面の対応として改訂率を抑えておりますので、各案の中で一番改訂率が低く、一番穏やかな案となっており、基本2年毎に収支の状況を分析して、適宜、賦課金の見直しを行なう必要はあります。

**武井：**なるほど、先ず外部の団体中央会を入れての検討、それを基にして最良の方法を模索していることが解りました。

**ポイント3 賦課金の改訂について**

経費の賦課及びその徴収方法検討資料①  
A・B・C・D案のポイント

<b>A</b>	①2022年の賦課金体制に各項目値上げをした場合。 ②111社になった場合は、赤字体制(ただし、2021年収支ベースの場合)。
<b>B</b>	①10名以下の人数割りをなくし、均等割りを10名～5名、4名～1名で一纏にする。 ②111社になった場合は、赤字体制(ただし、2021年収支ベースの場合)。
<b>C</b>	①10名以下の人数割りをなくし、均等割りを10名以下で一纏にする。 ②111社になっても、赤字で、それまでにある程度十分な繰越にも対応できる賦課金も確保できるので悪影響ではあると思われる。
<b>D</b>	①令和4年9月22日(水)・11月25日(金) 定例理事会+12月15日(水)支部長会のご意見を反映しての案を作成。最終的に令和5年4月20日(木)の定例理事会で承認。 ②ただし、D案は、当面の対応として繰上げ率を抑えているので、基本2年毎に収支の状況を分析して、適宜、賦課金の見直し検討を行なう必要あり。

経費の賦課及びその徴収方法検討資料②  
2021年と今後の改訂(案)比較表

項目	2021年	101	均等	111社
<b>A</b>	10名以下均等割り 45,000 10名以上均等割り 45,000 10名以上人頭割り 45,000 均等割り 45,000 人頭割り 45,000 合計 45,000			
<b>B</b>	10名以下均等割り 45,000 10名以上均等割り 45,000 10名以上人頭割り 45,000 均等割り 45,000 人頭割り 45,000 合計 45,000			
<b>C</b>	10名以下均等割り 45,000 10名以上均等割り 45,000 10名以上人頭割り 45,000 均等割り 45,000 人頭割り 45,000 合計 45,000			
<b>D</b>	10名以下均等割り 45,000 10名以上均等割り 45,000 10名以上人頭割り 45,000 均等割り 45,000 人頭割り 45,000 合計 45,000			

今回D案という一番緩やかな案に落ち着いています。2年ごとの見直しが必要との事ですが、今後のポイントはどのあたりにありますか。

**荒井委員長：**まず事務局の2人体制を定着させることができれば、急激に組合員数が減らない限り、賦課金の再改訂は必要がなくなります。その為には、組合員の減らない環境づくりが重要ですので、全組員が共有できる「デジタル」と「ライブ」の場を有効活用でき、意見交換を通して進化させていくことが大きなポイントになるのではないかと思います。

特に、「デジタル」の場としては、広報委員会によりリニューアルされたホームページを組合

独自のオウンドメディア(自ら保有するメディア)として今後各組合員にとって有益な情報収集ができたり、ネットワークの拡大、販路拡大につながるコンテンツに展開させたり、「ライブの場」としては、Happy Industry委員会が実施・予定している「業態変革推進のための他業界との交流の場」であるINSATSU交流会や「印刷業界の社員同士や異業種(IT業界等)とゆるくつながる場」としてのINSATSU酒場が大きな役割を担っていくと思われます。そして、経営革新マーケティング委員会が企画する勉強会やセミナー等は、その「デジタル」と「アナログ」の場で有益なコンテンツとして連動させることができれば、組合の限りある資源を効果的に活用、展開することができ、より持続可能な組合体制に繋がっていくポイントになると思います。

**武井：**ありがとうございます、よく理解できました。

過去にもっと良いタイミングがあったかもしれませんが、とにかく今回の総会で一步を踏み出しました。

この誌上でどこまでお伝えできたかわかりませんが、今後の組合活動がより良いものになるきっかけになると良いですね。荒井委員長本当にお疲れさまでした。

改訂案(D案)  
経費の賦課及びその徴収方法(案)  
[D案]

11名以上	均等割	5,000円 → 6,000円(+1,000円)
	人頭割	130円 → 200円(+70円)
10名～5名	均等割	4,000円 → 6,000円(+2,000円)
	人頭割	130円 → 0円(-130円)
4名～1名	均等割	4,000円 → 5,000円(+1,000円)
	人頭割	130円 → 0円(-130円)



江森理事長挨拶



杉山前理事長 乾杯



大竹副会長による祝辞



# REPORT 総会 交流懇親会

第66回通常総会のあと、会場を移して、交流懇親会が着席ビュッフェスタイルで開催されました。

司会進行の担当は武井康時常務理事、4月13日にHappy Industry委員会の企画運営によりGinger's Beach(横浜)に100名近くを集めて開催されたINSA TSU交流会の実況録画を場内に披露して開会しました。

まずは、江森克治理事長が登壇して挨拶し、続いて、かけつけてくださった来賓の方々と賛助会員の皆さまを紹介、代表して神奈川県中小企業団体中央会大竹准一副会長よりご祝辞をいただきました。

乾杯のご挨拶とご発声は杉山昌行前理事長、元気よく唱和して交流懇親に入り、19時半、古木直人副理事長の閉会の辞でお開きとなりました。



古木副理事長





貴重な出会いを  
ありがとうございます。  
イベント購入です!

# INSATSU交流会

4 | 13 Thu 7:00PM

INSATSU交流会にご協力、ご参加いただき本当に有難うございました。

おかげさまで100名近くの方にご参加いただきました。長きにわたるコロナ禍の閉塞感から人とのつながりや交流が阻害されてきましたが、ごく当たり前であった人とのつながりの大切さを改めて実感することができました。

苦勞した点としては、やはり動員に尽きます。コロナ禍で出精になっているのか、告知しても申し込み者は1週間前まで数名でした。そこで一人ひとりに電話してみると多くの人が参加してくれます。どれだけインターネットやSNSが普及しても、実際に人と会ったり、電話して声を聞いたりする事が本当に大切だと学びました。

私が今あるのは多くの「出会い」があったからだと思います。「出会い」は「未来」を変える!本気でそう信じています。今後も「印刷」「クリエイティブ」「出会い」をキーワードに交流の輪を広げて、ワクワクするような未来を語り合えるような機会を創っていただけたらと思います。今後とも宜しくお願いします。

Happy Industry委員会  
委員長 石澤 勝



色々な方と出会い、  
話せるととても良い  
機会になりました



神奈川県印刷工業組合主催  
「INSATSU 交流会」  
～印刷関連業界と地域クリエイター達との交流の場～



## くみあい日誌

4月10日 決算打合せ	組合会議室
4月13日 三役会	組合会議室
4月13日 常務理事会	組合会議室
4月13日 INSATSU 交流会	Ginger's Beach
4月14日 決算監査	組合会議室
4月14日 「神奈川印刷ニュースKIN」No.223 春号発行	
4月21日 (中) 理事会	横浜ベイシエラトンホテル
4月20日 予決算理事会	かながわ県民センター
4月25日 横浜中央支部 総会	たぐち屋
4月27日 (全) 常任役員会・理事会・全印政連総会	日本印刷会館
5月 8日 (全) 第1回地区印刷協議会会長会	W
5月10日 三役会	組合会議室
5月10日 広報委員会	組合会議室
5月10日 横浜横須賀支部 総会	あうん酒房 楽
5月12日 (全) CSR 推進委員会	日本印刷会館
5月12日 神奈川県製本工業組合 総会	桜木町：メルヴェーユ

W WEB会議 (全) 全日本印刷工業組合連合会 (全印工連)  
(関) 関東甲信越静地区印刷協議会 (関プロ)  
(中) 神奈川県中小企業団体中央会 (中央会)

5月19日 第66回通常総会・交流懇親会	ローズホテル横浜
5月23日 (全) 常任役員会・通常総会	インターコンチネンタル東京ベイ
5月25日 (中) 第68回通常総会	横浜ロイヤルパークホテル
5月26日 (全) 第1回教育研修委員会 銀座プロッサム	
5月29日 広報委員会	藤沢
6月 6日 (全) 第1回産業戦略デザイン室	日本印刷会館
6月 8日 湘北支部総会	うまいファクトリー
6月19日 自民党横浜市連政務調査会 「横浜市予算編成に対する要望ヒアリング」	横浜市役所 多目的室
6月22日 常務理事(委員長)会	組合会議室

● 経営革新マーケティング委員会 ● Happy Industry 委員会  
● 総務組織委員会 ● 広報委員会

## ／組／合／員／の／動／き／

<b>訃 報</b>	<b>賛助会員の動き</b>
■ 湘南小田原支部 小野ナカ子様 享年93歳 令和5年6月24日ご逝去 (尙)湘南グッド 小野聡社長ご母堂	■ 社名変更 三菱王子紙販売(株) (旧:ダイヤミック(株))
<b>脱 退</b>	■ 代表者変更 (株)T&K TOKA 高見沢昭裕
■ 湘北支部 (尙)長谷印刷	■ 退会 中央電力(株) (尙)金山商会
<b>住所変更</b>	■ 加入 リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)
■ 湘南小田原支部 (株)さんこうどう 〒251-0052 藤沢市藤沢462 MEFULL藤沢7階	
■ 川崎支部 ヤマナカプリント 〒210-0847 川崎市川崎区浅田1-3-16 ※電話・FAX番号は、変わりません	
<b>代表者変更</b>	
■ 横浜中央支部 三光堂印刷工業(株) 石川潤三	

令和5年6月30日現在 153社





豊富なラインナップのモトヤ書体が使用可能！  
これからリリースされる新書体も  
年会費だけですべて使用可能です。

LET'S  
LEADING EDGE TYPE SOLUTION

お問合せは  
045-322-3371へ

株式会社 **モトヤ** 横浜支社

〒221-0841 横浜市神奈川区松本町 3-21-15  
http://www.motoya.co.jp

明日への健康 安心の印刷けんぽ

## 全国印刷工業健康保険組合

郵便番号 110-8646 東京都台東区東上野1-7-2  
Tel 03(5834)3180 Fax 03(5834)3185  
URL http://www.insatukenpo.or.jp

印刷健保は、中小印刷産業に携わる被保険者とそのご家族の医療のセーフティネットとして、また、皆さんの健康を守ることを第一に考え、健康づくり支援事業に積極的に取り組んでいます。

## 夏号

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に引き下げられ、止まっていた時の流れが動き出すのではないかと期待に膨らんでいる中、KIN夏号(vol.224)お届けすることができました。今回は県通常総会のご報告回となりましたが、その中でもおすすめコンテンツは2つの交流会です。新たな出会いと学びもあり、紙面では紹介しきれないほど多くの方に参加していただきました。皆さんの目が先の未来を見据えているのが感じ取れるのではないのでしょうか。そこには持続可能な組合活動があってこそ成り立つものもあり、

今後の広報活動にもより一層わかりやすく楽しく情報発信をしていきたいと思えます。

さて、この号が皆さんのお手元に届くころには、高校野球も夏の県予選が始まり、熱い戦いが繰り広げられていることでしょう。またコロナで縮小傾向にあったイベントも各地で復活の兆しが見えてきているものと思えます。今年もやってくる熱帯夜に負けず、体調管理に気を付け、暑い夏を乗り切りましょう。ベ이스ターズ交流戦優勝おめでとう！

(広報副委員長 小島 正人)

ECO3の速乾印刷

# 水を絞れば、乾きが速い。

ECO3は独自の技術で開発した砂目の浅いプレートで  
オフセット印刷での「水を絞る印刷」を推進します

アグファのオフセット事業はECO3（エコスリー）にブランド変更しました。これからも引き続き、印刷業界の発展に力を入れてまいります。

**エコスリージャパン株式会社**

141-0032 東京都品川区大崎1-6-1 大崎ニューシティビル1号館 5階

TEL 03-5487-8253 / FAX 03-5487-8256



横浜みなとみらいグループ  
横浜みなとみらい税理士法人

経営サポートのワンストップトータルサービスを目指して  
私達がサポートします。

【税務会計・決算申告】 【事業承継・M&A】 【相続・相続税対策】

〒235-0005 横浜市磯子区東町15-32 モンビル横浜根岸301

TEL : 045-751-2734

HP : <http://www.asagi-tax.com/>



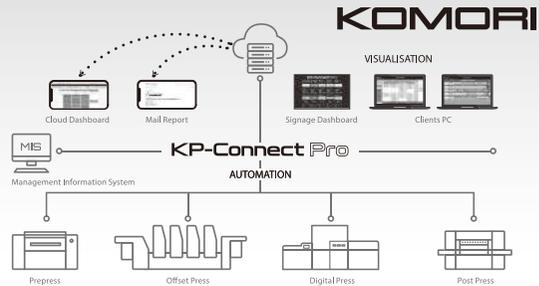
代表社員 浅木克真



## CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —

「データ一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



株式会社 小森コーポレーション

〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806

[www.komori.com](http://www.komori.com)

コネクテッド・オートメーション  
についての詳細はこちら

<https://www.komorisolutions.com/ca/ja/>



RMGT970が  
あなたのSDGsを  
アシスト  
Assist



人に優しい



地球に優しい



経営に優しい



**リョービMHI**

グラフィックテクノロジー株式会社

<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>